

佐原広域交流拠点整備事業基本方針

国土交通省利根川下流河川事務所

千 葉 県
香 取 市

佐原広域交流拠点整備事業基本方針 目次

1. 現況の特徴と関連計画	1
1) 本宿耕地地区の位置	1
2) 利根川の現況	3
3) 国道 356 号の交通状況	5
4) 小野川周辺地区の状況	6
5) 佐原地域中心市街地「まちづくり型観光地づくり」の展開	8
6) 佐原地域への国・県等の支援による関連計画・事業	11
7) 各関連事業の概要	14
2. 基本方針	20
1) 基本方針	20
2) 事業化方針	20
3. 施設整備方針	23
1) 導入機能と整備施設	23
2) 土地利用及び施設配置計画図	24
3) 利用者想定と施設規模	25
4) 建築施設整備・運営方針	26
5) 外部空間施設整備・運営方針	31
6) ネットワーク計画・その他	36
4. 維持管理方針	39
1) 基本方針	39
2) 占用計画	39
5. 事業方針	40
1) 事業手法	40
2) 事業スケジュール	42

【本基本方針の位置づけ】

本基本方針は、佐原広域交流拠点整備事業についての基本構想（平成 16 年度）、基本計画(平成 17 年度)の検討内容を整理したものである。

1. 現況の特徴と関連計画

1) 本宿耕地地区の位置

本宿耕地地区は、千葉県の北東部に位置する香取市内にあり、首都東京から70km圏、成田国際空港と茨城県の鹿島臨海工業地帯の間に位置している。

同地区北側には利根川が東流して市域を南北に二分し、利根川以北は水田と集落が散在した水郷地帯が広がり水郷筑波国定公園の入り口にあたる。また同地区は市の中心部である既成市街地の東側に隣接し、過去に耕地整理を実施し一帯は水田となっており、同地区の北側は利根川に沿って走る国道356号と市街を貫流する小野川の河口及び利根川に面しており、水運と陸運の結節点に位置する。

なお、香取市は平成18年3月27日に佐原市、小見川町、山田町、栗源町と合併し人口約9万人の市としてスタートした。

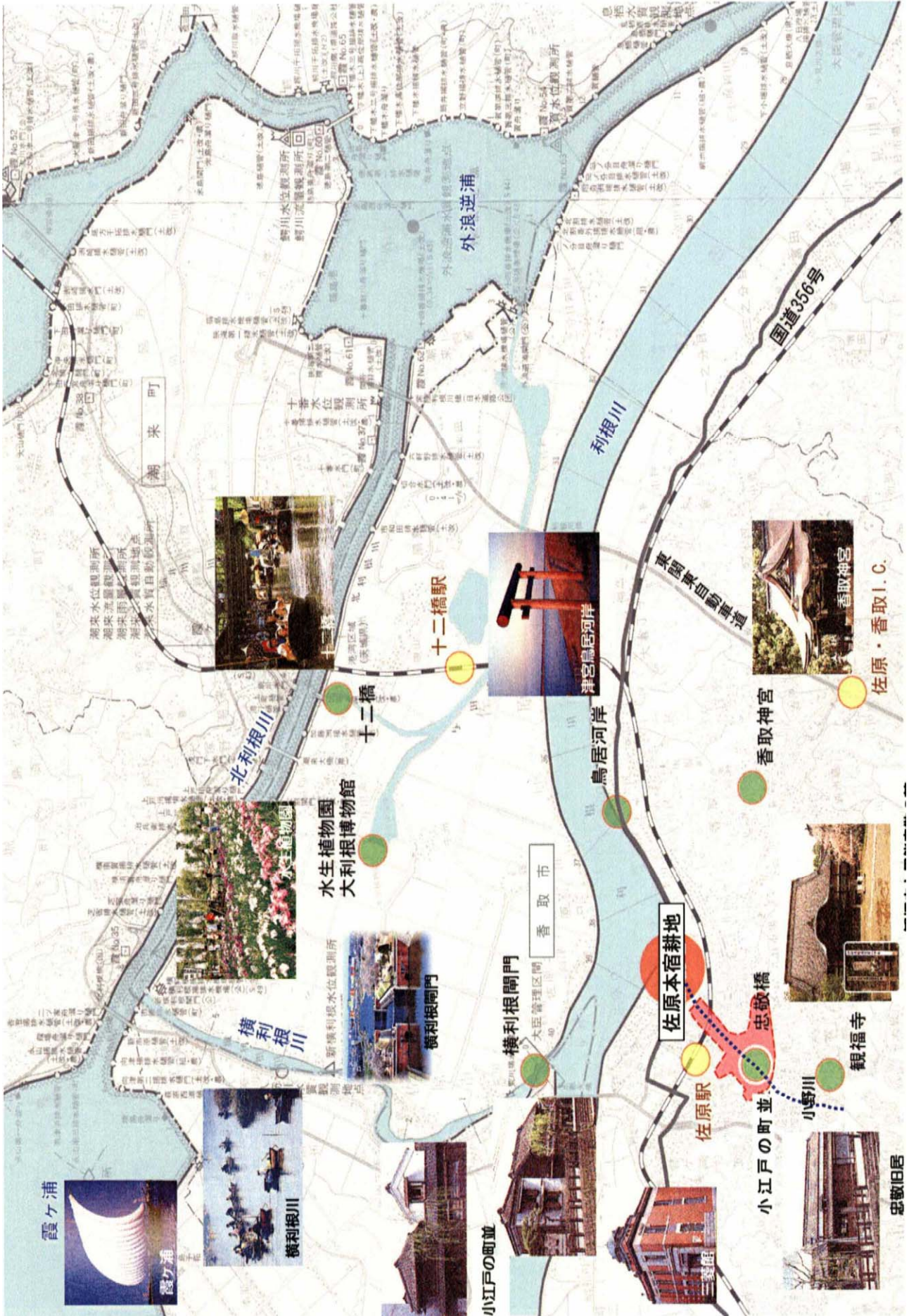


図-1 香取市の位置



<利根川上空から見た本宿耕地地区の全景>

图-2 本宿耕地周边状况



2) 利根川の現況

①利根川本川の状況

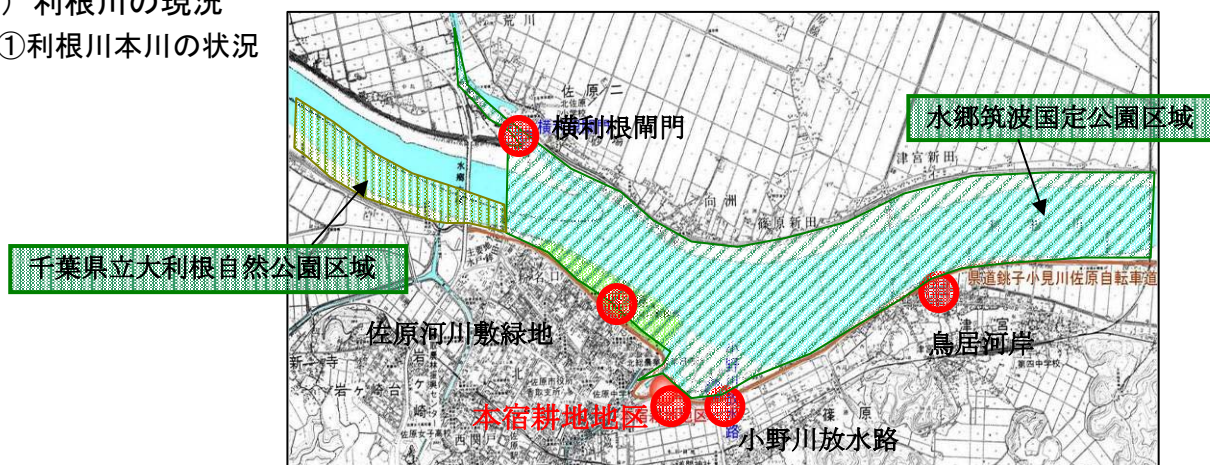


図-3 本宿耕地地区に隣接する主な河川区域内施設



<重要文化財に指定されている横利根閘門と周辺の公園>



<香取神宮へのかつての表参道口・鳥居河岸>

◆自然環境

河川区域内は水郷筑波国定公園（第3種特別地域）、千葉県立大利根自然公園に指定されている。利根川に生息する魚介類、鳥類は、それぞれ37科82種、41科185種にもおよぶ。このうち、本宿耕地地区周辺では12科29種の魚介類、24科55種の鳥類が確認されており、ヨシ原にはオオセッカ、コジュリンなどの希少種も見られる。

◆河川空間利用

利根川下流部の河川空間では、年間推定で約270万人（平成15年）の利用が見られる。利用形態ではスポーツ、散策が約7割を占めており、利用場所では高水敷での利用が約6割となっている。近年水面利用が増加しているのも特徴である。

本宿耕地地区周辺では、佐原河川敷緑地や県道銚子小見川佐原自転車道（サイクリングロード）等が整備されている。

◆河川管理施設等

本宿耕地地区及び周辺には、利根川改修に活躍した浚渫船が係留するドックや、利根川下流史料室、建設機械展示場が整備されている。

本宿耕地対岸の横利根閘門は重要文化財に指定され、周辺は公園が整備されている。また小野川放水路が高規格堤防整備事業と一体的に整備されている。



<エノキの大木と水神様>



<利根川下流史料室>



<小野川放水路と緩傾斜堤防>



＜利根川改修に活躍した浚渫船と佐原ドック＞

②利根川流域の水面の多面的な利用状況

本宿耕地地区及び周辺では、水面の多様な利活用が行われている。

本宿耕地地区から約 30km 上流の出津地区には民間による河川マリーナが整備され、河川敷の昇降スロープや国道沿いに約 150 台のボートが陸上保管されている。

◆出津地区のマリーナ



＜昇降スロープ＞



＜陸上保管ボートヤード＞



＜乗船体験による環境学習＞

◆利根川河口堰

また本宿耕地地区より約 12km 下流の黒部川では「千葉県立水郷小見川少年自然の家」「小見川 B&G 海洋センター」等が整備され、水上スキーやカヌー・ボートの全国大会なども行われている。

◆黒部川のカヌー・ボート施設



＜小見川町 B&G 海洋センターとカヌー・ボート＞



＜黒部川の水上市スキージャンプ台＞

③横利根川～与田浦周辺の特長と水面利用状況

利根川下流部の中下流域は「水郷筑波国定公園」や「千葉県立大利根自然公園」に指定されたのどかな田園景観を有している。

横利根川は関東随一のヘラブナ釣りのメッカで、周辺には船宿が立地しており、横利根川沿いには利根川や霞ヶ浦、遠くは外洋まででるクルーザーが保管されている。

与田浦には、「水郷佐原水生植物園」や「千葉県立中央博物館大利根分館」などが整備され、水生植物園は年間約 12 万人の観光客がある。



<自然公園に指定されているのどかな水郷・田園景観>



<与田浦周辺の水辺景観>



<横利根川のヘラブナ釣り>



<横利根川沿いの釣り宿>



<横利根川沿いのボート保管施設>

3) 国道 356 号の交通状況

利根川右岸の堤防沿いには銚子ー我孫子間を結ぶ国道 356 号が走り、北総地帯と東葛方面を連絡する物流道路となっている。

本宿耕地地区と国道 356 号は、東関東の南北の大動脈である国道 51 号に東へ約 2km と近接した位置で接続している。また、①首都圏や千葉、成田方面からの玄関口となる東関東自動車道「佐原・香取」IC (約 3km) の取付道路への接続点、②北総地帯から延びる主要地方道佐原八日市場線の接続点、③市民が最も利用する既成市街地外環道路 (都市計画道路仁井宿与倉線) 入り口にも位置して、道路交通の利便性に優れた場所にある。

国道 356 号の交通量 (平成 11 年度道路交通センサス) は、平日交通量は 15,378 台 (12 時間値)、20,914 台 (24 時間値)、休日交通量は 14,878 台 (12 時間値)、20,829 台 (24 時間値) である。